

長谷小だより

- 12月号 -
平成25年12月4日 発行
神河町立長谷小学校

旧暦12月を『師走（しわす）』と呼びます。この月になると家々で師（=僧）を迎えて読経などの仏事を行うため、師が東西に忙しく走り回る「師馳（しは）せ月」と言ったのが間違っ^{どきょう}て伝わったという説や、四季の果てる月だから「しはつ（四極）月」と言ったのが「しはす」となったという説が伝わっています。このことばのもつ語感が、年の暮れの人事往来の慌ただしさと一致するため、古くから人々に親しまれ習慣的に用いられてきたようです。たしかに慌ただしき日が続きますが、健康に注意してゆったりと過ごし、新年を迎えたいものです。



(高岡小との交流会で砥峰太鼓を披露しました)

多くの人に見ていただきました

11月16日、高岡小学校の七種（なぐさ）太鼓20周年記念に、砥峰太鼓を演奏してきました。多人数の前で演奏するのは今年初めて（雨のためすすき祭りでは演奏できませんでした）のことだったので緊張したようですが、どの学年も大きな拍手をいただきました。七種太鼓をみんなで聴きましたが、砥峰太鼓とは異なるたたき方やリズムがよい刺激になったと思います。



そして、23日（土）は学習発表会でした。会場の体育館には約100席のイスを用意したのですが、立ち見のかたがでるほど多くの人がお越しくださいました。オープニングの砥峰太鼓。すすき祭り用のフルバージョン（高岡小では時間を短縮し演奏）で演奏しました。そして、3・4年生、幼稚園、1・2年生、5・6年生の演技。会場からは楽しい笑い声が聞こえたり、時には涙を流される方もおられたり…。



子どもたちの一生懸命な演技がお客さんの心にしっかりと届いていたようで、会場からは大きな拍手をいただきました。みんな、本当にしっかりとセリフを言い、見事な演技を披露してくれました。どの学年の演技も今までで一番素晴らしい出来でした。また、全校生による合奏や合唱も、今までの練習の成果が十分に発揮され、会場のお客さんからも「もう一度聴きたい」という声が多く聞かれました。日頃の練習から予行、仕上げの練習、本番と子どもたちの演技や演奏を見てきましたが、練習より本番のほうが、予行より本番のほうが、素晴らしい出来でした。感動して鳥肌が立ちました。

学習発表会を通して、みんなで力を合わせる大切さや、努力したことは必ず報われること、そして、必ず自分のためになること、を学ぶことができたことと思います。

[12月の行事予定]	[1月の主な行事予定]
3日(火) P T A役員会④	7日(火) 3学期始業式
12日(木) 校内マラソン大会(予備-13日)	8日(木) 書き初め大会
18日(木) 地区児童会 民生委員懇談会 放課後子ども教室運営委員会	9日(木) 書き初め展(~10日)
19日(木) 人権講演会 個別懇談会	17日(金) 阪神淡路大震災追悼行事
21日(土) 神崎郡ロードレース大会	26日(日) 神河町マラソン大会
23日(月) 天皇誕生日	
24日(火) 2学期終業式	